

## 西成区長タウンミーティング議事要旨 (梅南中学校)

### 【日時】

平成 25 年 2 月 26 日（火）午後 7 時～午後 9 時

### 【場所】

梅南中学校 多目的室

### 【臣永区長あいさつ】

タウンミーティングは、全 6 回、各中学校区で行っており今日が最終回であるが、この間、寄せていただいたご意見を整理して、もう一度しかるべき時期に開いていきたいと思っている。お願いだが、この間、同じテーマで同じ方が発言されることがあった。参加者の方からも、困るのではないかとされている。特に住吉市民病院のことに関しては、関心が高いということも十分承知しているので、できるだけ初めての方、あるいは地域に根差したご意見を今回はお寄せいただきたいと思っている。現在、大阪市は、非常に大きな変わり目の時期を迎えている。府と市が一緒になって、24 区を違う区切りで新しいまちづくりをしていこうという案である。市民病院については、市長からも言われているのは、できるだけ丁寧に区民の皆様のご意見などをお伺いして、それを市あるいは市長に上げてきなさい、ただし、決めるのは市長であると言われている。現在は、それを地元で決められるようにしていくために、まちのいろんな形を変えていこうとしていくところである。自分たちの町の将来は自分たちで決める、決めたことにはある程度責任を持っていくし、全部やってくださいではだめだということである。区民の皆様が、まずよく話をさせていただいて、ご意見をいただき、議員の議論も通して考えていく。その中で、多数の意見で満足していくように、しかし、少数意見も大切にしながら考えていくことが大事だと思う。

### 【区役所からの今後の区政方針について説明】

- ・ 西成区の現状を統計数字で説明。
- ・ 平成 25 年度予算（案）
- ・ 平成 25 年度西成区運営方針（案）
- ・ 西成区将来ビジョン（案）
- ・ 西成特区構想
- ・ 行政区のブロックの区割り試案

#### 【参加された皆さまからの主なご意見】

- ・ 住吉市民病院について、先日、橋下市長が民間を誘致すると打ち出されたが、現地で、公立病院として残して欲しい。民間誘致しても、手を挙げるところは多分ないと思う。府立病院と統合したら、すごく機能が充実すると言われているが、ベッド数は減る。ぜひ、懇談会を開いて、その声を市長に上げていただきたいと切にお願いしたい。
- ・ 地下鉄、市バスの高齢者の無料パスについて、橋下市長は選挙のときに絶対に廃止しませんと言っていたのに廃止すると言っている。高齢者をだましている。区長から市長にもう一度考えてもらいたいと言って欲しい。
- ・ 市民交流センターで卓球をしているが、近々廃止になるという話が聞こえてきたので、事務所の方や館長に聞いたが、わからないと言われた。これから先のことを考えていただきたいと思う。
- ・ 高齢者の方の交流の場として老人福祉センターがあるが、利用者であふれ返っている状態である。老人福祉センターだけでは足りない状況なのだから、市民交流センターで高齢の方が伸び伸びとできるような形にぜひしていただきたい。
- ・ 健康の問題について、四条畷市では市民に無料で、腫瘍マーカー検査をセットした検診が受けられるようになっていて聞いた。西成は、大阪一の高齢のまちで、西成特区構想を掲げているのだから、結核はもちろんだが、検診をきちっとできるように考えていただきたい。50歳以降、男性の4割が発病する前立腺ガンの検診もメニューに入れるべき。
- ・ 赤バスの廃止について、北津守地域は病院や買い物センターもないので、廃止されると生活にかかわってくる。何らかの形で、これにかわるもの、あるいはこれを存続できるように、西成特区としてぜひ考えていただきたいと思う。
- ・ この間のタウンミーティングで、中学校を使って夜に学力アップみたいな事業をすると聞いたが、対象を高校中退しそうな子も来られるように考えていただけたらうれしいかなと思う。
- ・ 学校給食について、西成区としては、今後、選択制をとるのか、それとも一本に決めていくのか、お聞きしたい。もっと、食の安全を踏まえて検討していただきたいと思う。
- ・ 学校選択制については、区長の権限で各区ごとに決まると聞いたが、西成区は連合の中で、子どもたちのつながりをつくっている。学校選択制になってしまうとばらばらになるのではないかと心配である。また、他府県では逆になくなっているようなマイナス面がある制度は取り入れないように希望する。
- ・ 学校選択制について、在日朝鮮・韓国人の子どもや保護者は不安を持っている。西成区の小・中学校では、民族学級などの活動があるが他の区ではないと聞く。民族教育をオール大阪市でしていただきたいので、ぜひ西成区長からそういうことを発信していただきたいと思っている。

- ・ 学校選択制が、西成の小中学校の統廃合につながらないようにお願いしたい。
- ・ 学校教育の関係について、西成区の子どもたちは、自尊心の低い子どもが多いという資料を以前見て心配になった。頑張っている子が潰れてしまったり、埋もれてしまわないように、もっと底上げをして欲しいと思う。塾代助成のバウチャーについて、バウチャーのお金を使って、各中学校にすごく指導力のある先生を入れてもらう方が全体的な底上げになって、学力も向上するのではないかと思う。また、1人1万みたいにならなくて、必要に応じて金額を上増しするなど、その場に適応した使い方をしないと、ただのばらまきになって効果が上がらないと思う。
- ・ 若い人を呼び寄せようと思ったら、西成のまちをとにかくきれいにして欲しい。
- ・ 子育て、教育の観点から、ぜひ、西成区を南北に貫いて地下鉄なにわ筋線を実現できないかなと思っている。実現できれば、西成のまちの活性化にもつながることではないかと思うので、ぜひお願いしたい。
- ・ 近くに公園があるが、生活保護のお金が出たら、ワンカップをいっぱい飲んで遊んでいるおっちゃんたちがいる。何とかならないか。
- ・ 公園の有効活用について、閉鎖されていた公園が今度オープンするが、遊具がブランコだけとお粗末な状況である。他の区にはいい遊具がある。西成区内の公園の遊具を点検いただいて、健康づくりに役立つ、あるいは交流、憩いの場に役立つ公園づくりに、区としても協力いただきたいと思う。
- ・ 防災について、津波が押し寄せてきた場合、北津守、津守、南津守エリアは水没する。ぜひ、一人一人の方がどう逃げるのかなどの具体的で、日常生活に即した防災訓練を検討いただきたいと思う。
- ・ 防災防火訓練は、町会でやるより、学校なんかで授業の一環としてやった方がいい。
- ・ タウンミーティングについて、これで終わりとか、聞いて終わりとかではあまり意味がないので、より現実的に実効の上がるような形で、より一層お願いしたいと思っている。また、部課長がずらっと並んでいるが、これは大変負荷が多過ぎるのではないかと思う。
- ・ タウンミーティングの形でなくてもいいので、引き続き、住民のいろんな要望を区長にじっくり聞いてもらえる場を、もっと色々工夫してやっていただきたいと思っている。
- ・ 地域活動協議会について、アイデアや構想は、大変今までなかったいいことだと思うし、本当に実効のあるものにして欲しいと思っている。ただし、もう少し丁寧にやって欲しかったと思う。今まで地域活動に参加していない者は、なかなか入り込んで一体的にやっていくは難しいと感じている。3月中につくって申請しないと予算がつかないというやり方では、多分メジャーな地域の方々がそのまま引き続き同じようなことをやっていくと思う。区役所が踏み込んで、広く、西成区全体を盛り立てていくことを、どんな切り口からでもいいので、やっていって欲しいと思う。
- ・ 今、若い人が子育てするために西成に入らないのは、分断されているからだと思う。

町会の予算を減らして、やる気をなくさせて、橋下さん、あなたのやっていることは分断しているのではないと思う。若い人を呼び込むのなら、親子代々住み続けられる西成というイメージをもっと前に押し出したほうが良いと思う。子育てできる病院もいる。親世代をもっと大事にして、子どもを引き寄せるようにしないといけないと思う。

- ・ イメージアップについて、以前、橋下市長が西成特区構想という言葉を出したとき、ニュースでさんざん西成の一部分のところばかりが繰り返し報道されたことがあったが、先日、新聞に「安定志向」という漫才コンビで西成PR作戦というのが載っていて、問答の内容を見ると、ふざけているというか、世間にまた西成という言葉だけを広めるのではないかと懸念している。生活保護の方やホームレスに対する悪いイメージをなくす必要があると思う。イメージアップするには、住んでいる人が口コミで西成のいいところをどんどん伝えないと伝わらないと思う。西成区という看板を掲げて区外に出ていく高校生や大学生が、西成のいいところを伝えるような教育を特にしていったらどうかと思う。

#### 【区役所からの発言】

- ・ 市民交流センターについては、市政改革において、指定管理の期間が終了する26年3月31日をもって廃止する予定になっている。廃止後については、耐震の問題、現在の利用状況や将来の予測、また、市の非常に厳しい財政事情等を十分鑑みながら、様々な観点から検討していかなければならない。今後とも意見を伺いながら一緒に考えていきたいと思っている。
- ・ 検診につきまして、がん検診は、大阪市の単費の費用になっている。今回、大阪市、西成区が共に頑張って予算を確保した結核健診のように、10割国費の検診とは事柄が違うと思う。取り組みは進めたいと考えているが、現在の検診の取り巻く状況は、大変厳しくなっていることはご理解をいただきたいと思う。しかし、多くの方々に検診を受けていただくよう、他都市調査や検診の機会を増やしながらか進めていきたいと思う。
- ・ 赤バス廃止については、ここ数年かけて、交通局と市民の皆様との間で議論されてきたが、利用者が少なかったということで、今年の3月末に廃止が決まっている。しかし、西成区として、25年度予算で、障がい者や高齢者の方の福祉として、北津守、津守から鶴見橋あたりへ週に3日間、1日4回以上、業者に委託事業として周回輸送をしてもらうことを、現在、公募している。運用方法については、これから地元の方と進めていく。
- ・ 高校中退者のフォローについては、今のところ、区としては25年度にすぐということとは予定していないが、NPOが、中退した子や、あるいは中退の可能性がある子などが、何となく立ち寄れる「となりカフェ」ということを大阪府の事業として実施している。今後は、高校の先生方とも協力して、区として何かできることがあ

れば、考えていきたいと思っている。

- ・ 中学校給食については、実施率が3割程度で、開始時の方が数字が高く、月を追うごとに減っている。これは、小学校の時の給食に比べて、色々期待外れの部分があるからだと思う。25年度以降については、教育委員会が実施したアンケートや先生方ともいろいろ協議させていただいた結果、西成区は、24年度と同じように、お弁当か給食かを選べることにしている。26年度以降については、今の想定では、小学校から上がってきた1年を全員喫食にし、次の年は1年、2年を全員喫食、またその次は1年から3年までを全員喫食にしようと考えているが、まだ保護者の方などとも十分話できていないので、今後、お話をして実施していきたいと思う。その際には、アレルギーの問題など様々な課題もあるので、教育委員会に話をしながらやっていきたいと考えている。
- ・ 学校選択制については、昨年の4月にフォーラムを2回開催した。その中では、選択制の不安とか反対意見が非常に多かったが、余りにも少ない中でのご意見なので、それが皆様の意見かどうか図りかねている。一方で、西成区内では、小中一貫も含めて統合の問題や、複式学級の課題もあるので、学校選択制は非常に難しいと考えている。今後、様々な機会を持って、保護者の方とも十分相談させていただきながら慎重に考えていきたいと思っている。
- ・ 基礎学力アップ授業については、現在考えているのは、バウチャーが利用でき、中学校の学校施設を利用して塾業者が学校に来て勉強する形である。学校の先生をもっと増やして欲しいというのは、どの校長先生も言われることだが、現実、なかなか難しいので、区として何かできることはないかということで考えさせてもらった。公の施設を民が使うことは、ハードルが高いが、クリアして何とか実現したいと思っている。
- ・ 地下鉄なにわ筋線については、大阪市や国も検討はしていると聞いているが、大阪駅の北ヤードから難波までの計画である。残念ながら、それより南に行く計画は今のところないので、実現へのハードルは高いのではないかと考えている。
- ・ 防災は、大変重要な事項だと思う。西成区も過去に何度も災害にあっている。防災をやっていくには、本当に地域の皆様が、色々やっていただくことが本当に一番大切だと思う。現在、区役所が各地域に行き、きめ細かな、具体的な防災教育や防災の訓練を行っているが、もっと詰めさせていただきたいと思っている。
- ・ 学校においても、消防や警察などと共に防災教育を進めているが、今後、色々増やしていきたいと思う。

#### 【区長からの発言】

- ・ 住吉市民病院については、冒頭申し上げたとおりであり、もう何度も言っている。また、事前に個別にお目にかかってお話をさせていただいている。ただし、まだ十分な知識なり環境についての情報が得られていないので、現在、情報を集めていると

ころである。

- ・ 市民交流センターについては、本当に高齢者の方が生き生きと活動していただいたほうが医療費の逡減にもつながると思うし、そのほうが良いと思う。ただし、大きな施設を維持するにはそれなりの予算が必要になってくる。また、耐震性等の問題もあるので、そのまま使える環境にすることは大変難しい。耐震性に問題がなければ、一定程度のご負担をいただきながらの自主運営的な形は、ぜひ検討していきたいと思っている。
- ・ 健康づくりのまちへというのは、そのとおりだと思う。ただし、何とか市が無料検診やっているから、うちもというのは、予算との関係があるので一概には言えない。しかし、良いところは、まねていきたいと思っているので、逆に色々ご提案いただき、予算内でできることがあれば、ぜひ取り組みたいと思う。
- ・ 買い物についてと移動手段については、両方、関連する話だと思う。交通手段がないから、買い物にいけない。しかし、買い物をする場所があったり、向こうから来てくれば、楽になるというところもあると思う。非常に困っているところではできかぎりカバーするように、限られた予算を重点的に使っていきたいと思っている。
- ・ 西成区は、多様な価値観を持っている方や、国が違う方々も多くおられる。各区が、各々の環境の中で目指すものをつくっていきたいと思っている。それは、区役所が決めることではなく、皆様からご提案などをいただいて、進めていきたいと思っている。今後も、折々見つけて様々なお聞きする場を考えていきたいと思っている。
- ・ 学校の先生の充実については、どの学校の先生もそうであったし、多分、保護者の方々も同じ意見だと思う。24区の区長会の中で、教育に関するチームを立ち上げることになっており、西成区としては、指導力のある先生の拡充を望むというテーマを上げている。現在、人を新たに雇うことは大変難しい状況だが、同じ思いのある区長と一緒に、教育委員会に対して要望していきたい。ただし、バウチャー制度については、すでに大阪市で決まって実施している制度なので、西成区としてはそれをうまく活用して、中学校でぎりぎりのところで何とかできるように、中学校の施設の中で塾の業者により遅れを取り戻す試みをまず実施することを考えている。中退しそうな子や中退した子のフォローも含めて、今後、課題としてやっていかなければならないと思うが、一朝一夕に、全てが解決できることばかりではないので、試行錯誤しながらやっていきたいと思う。
- ・ 公園の件については、ゆとりみどり振興局とも相談して、限られた予算の中でも検討していきたいと思う。例えば、公園の中でも少し余裕があるところではボール遊びも少しできるようにするなど、様々な角度から、地域の皆様にとって活用してもらえる、そして親しんでもらえる公園づくりを皆様と一緒に考えていきたいと思っている。
- ・ 今日木津川樋門や川の周辺をずっと見て回って、やはり防災が必要なことを改めて実感した。今後も小まめに回って、チェックをして、地域の皆様と一緒に防災力

を上げていく取り組みを考えていきたいと思っている。

- ・ 地域活動協議会については、言われるように、地域貢献をしたいが入り込みにくい要素もあるかもしれないが、そういうことも含めて、地域の中でこれからどうやっていくのか、補助金があるから、ないからだけではなく、地域で一緒になって話をしていくことが大事であると思う。西成区には、本当にオープンで、活気を持っていった歴史があると思う。色々な方を受け入れて、まちを元気にしていくことが、まちの活力であり、底力だと思う。西成にはそれがあると思う。また地域を回らせていただき、いいまちづくりのために頑張っていきたいと思っているので、ぜひご参加いただき、色々と身近に教えていただけたらありがたいと思う。
- ・ まちづくりについては、本当に親子代々暮らせる町を目指して、町会や高齢者の方々も含めた町を担うパワーを結集して、一緒になってまちづくりをしていきたいと思う。
- ・ 西成が持っている現実の中で、そこから学びとって、先入観ではなく、生きているところを学んでいるというのは本当に貴重な経験だと思う。それをきっちり伝えるというのは、西成に住んでいるからこそできることだと思う。メディアを使うと広く伝わるけれども、上っ面の部分で伝わってしまって、誤解を受けるところもなきにしもあらずと思う。しかし、市長は、笑いの中で西成のよさを伝えていきたいと言われ、「安定志向」も好感を持って取り上げられているので、広めていくのは一つの手法かなと思う。もちろん、全部良いわけではないと思うので、十分気をつけていかなければならないと思う。